授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育実習Ⅱ	実習	2単位	園田　雪恵

【ディプロマポリシーとの関連】

＜技能・活動的領域（技能・表現）＞

5. 子どもの感性や個性を大切に育てるための保育に関する（音楽・造形・体育など）の実践力を身につけている。

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

授業のテーマ

保育実習Ⅱでは保育実習Ⅰで得た保育所の役割、保育士の職務についての理解と子どもに対する理解をさらに深める。これまで学んできた理論・技能を実践の場で確認し、生かしながら、実践的能力を高める。そして、一人ひとりの子どもの特性に応じた援助のあり方、家庭との連携のあり方や子育て支援の内容と方法について理解を深める。

到達目標

・保育を観察することにより保育技術を実践することができる。
・子どもの個人差に配慮した保育を実践することができる。
・指導案の立案し、設定保育を実践することができる。
・職員間の連携について説明することができる。
・保護者との連携について説明することができる。
・地域社会との連携について説明することができる。
・保育における子どもの最善の利益について説明することができる。
・保育所保育士としての職業倫理について説明することができる。
・今後の課題と方向性について説明することができる。

【授業の概要】

1週目：参加実習、部分実習

2週目：部分実習、半日実習、全日実習

【全体の授業計画・内容】

【学習のあり方】

【成績評価】

実習園による成績（70%）、提出物（実習記録）（30%）を総合的に評価する。

【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】

提出物や保育実習Ⅱの成績評価をもとに個別面談を実施し、実習についての振り返りを行う。

【テキスト】

久富　陽子他『幼稚園・保育所実習　指導計画の考え方・立て方』萌文書林

【参考文献】

適宜紹介する。

【実務経験の有無】

幼稚園教諭としての経験をいかし、保育者としての実践的な学びについて指導する。